

前期学校評価アンケート

生徒アンケート（7月末実施）

保護者アンケート（7月末～8月中旬実施）

教員アンケート（8月上旬実施）

一覧表

肯定割合（％）

項 目	生徒	保護者	教員
A 支え合う仲間・集団づくりの推進			
① いじめを許さない指導	95.5	69.9	92.9
② 学校が楽しい	91.9	87.0	100
③ 生徒会活動や学校行事への取り組み	87.9	80.4	92.9
④ 部活動への取り組み	93.1	85.7	71.5
B 規律ある学校づくり			
⑤ 生徒の間違った行動に対しての適切な指導	95.6	72.8	100
⑥ 挨拶	92.4	89.4	64.3
⑦ 正しい言葉遣い	90.3	82.3	85.7
C 分かる楽しい授業の実践			
⑧ 授業は、分かりやすい	95.2	60.4	85.7
⑨ 分かるまで勉強を教えてくれる。	92.4	57.5	92.8
⑩ 毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	83.5	71.0	64.3
D 生徒一人一人の良さの伸長			
⑪ 学校生活で活躍の場がある	88.0	74.0	92.8
⑫ 友達や先生は、自分の頑張りを認めてくれている	94.0	77.5	92.8
⑬ 将来の進路や職業などについて考え生活している	65.9	46.1	92.8
E 家庭・地域との連携の強化			
⑭ 相談しやすい体制づくり		68.0	100
⑮ 校報・通信・HP等での情報公開		73.4	78.6
⑯ PTA活動や地域の行事への参加		68.1	100

生徒アンケート 分析

1 実施時期 1 学期末

2 実施人数 249 名 (1 年生 80 名 2 年生 96 名 3 年生 73 名)

3 分析方法

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が 9 割以上：○

否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が 2 割以上：×

1 支え合う仲間・集団づくりの推進

	観 点	評 価
①	学校は、いじめを許さない指導を行っている。	○
②	私は、学校が楽しいと感じている。	○
③	私は、生徒会活動や学校行事に自主的・意欲的に取り組んでいる。	—
④	私は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	○

2 規律ある学校づくり

	観 点	評 価
⑤	先生は、生徒の間違った行動に対して適切な指導をしている。	○
⑥	私は、学校や地域で進んで挨拶をしている。	○
⑦	私は、正しい言葉遣いで会話ができています。	○

3 分かる楽しい授業の実践

	観 点	評 価
⑧	学校の授業は、分かりやすいと思う。	○
⑨	学校の先生は、分かるまで勉強を教えてくれる。	○
⑩	私には、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	—

4 生徒一人一人の良さの伸長

	観 点	評 価
⑪	学校生活の何らかの場面で、自分に活躍の場が与えられている。	—
⑫	友達や先生は、自分の頑張りを認めてくれていると思う。	○
⑬	私は、将来の進路や職業などについて考え生活している。	×

保護者アンケート 分析

1 実施時期 7月下旬～8月中旬

2 実施人数 169名(1年生45名 2年生69名 3年生55名)

3 分析方法

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上：○

否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上：×

1 支え合う仲間・集団づくりの推進

	観 点	評 価
①	学校は、いじめを許さない体制づくりに努めている。	—
②	お子さんは、学校が楽しいと感じている。	—
③	お子さんは、生徒会活動や学校行事に自主的・意欲的に取り組んでいる。	—
④	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	—

2 規律ある学校づくり

	観 点	評 価
⑤	先生は、生徒の間違った行動に対して適切な指導をしている。	—
⑥	お子さんは、学校や地域で進んで挨拶をしている。	—
⑦	お子さんは、正しい言葉遣いで会話ができています。	—

3 分かる楽しい授業の実践

	観 点	評 価
⑧	お子さんは、授業は分かりやすいと感じている。	×
⑨	お子さんは、学校の先生が、分かるまで勉強を教えてくれると感じている。	×
⑩	お子さんには、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	×

4 生徒一人一人の良さの伸長

	観 点	評 価
⑪	お子さんには、学校生活の何らかの場面で、活躍の場が与えられている。	—
⑫	お子さんは、友達や先生が自分の頑張りを認めてくれていると感じている。	—
⑬	お子さんは、将来の進路や職業などについて考え生活している。	×

5 家庭・地域との連携の強化

	観 点	評 価
⑭	学校は、保護者や地域の方が来校したり、相談したりしやすい体制をつくっている。	—
⑮	学校は、教育活動に関する情報を、校報・通信・ホームページ等で積極的に家庭・地域に知らせている。	×
⑯	保護者として、PTAの活動や地域の行事によく参加している。	×

教員アンケート 分析

- 1 実施時期 8月中旬
- 2 実施人数 14名
- 3 分析方法

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上：○

否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上：×

1 支え合う仲間・集団づくりの推進

	観 点	評 価
①	いじめを許さない体制づくりに努め、いじめへの対が組織的にできている。	○
②	学校生活が楽しいと思えるような教育活動を工夫・実践している。	○
③	生徒会活動が、生徒の自主的な活動となるよう、支援している。	○
④	生徒の意欲が高まる部活動運営を実践している。	○

2 規律ある学校づくり

	観 点	評 価
⑤	生徒の間違った行動に対し、毅然とした態度で指導している。	○
⑥	生徒は、学校や地域で進んで挨拶をしている。	×
⑦	生徒は、正しい言葉遣いで会話ができています。	—

3 分かる楽しい授業の実践

	観 点	評 価
⑧	分かりやすい授業が実践できるよう、教材や指導方法を工夫・研究している。	—
⑨	一人一人の学力向上に向け、個に応じた指導を心掛けている。	○
⑩	家庭学習の習慣化を図るとともに、効果的な家庭学習の方法について研修している。	×

4 生徒一人一人の良さの伸長

	観 点	評 価
⑪	一人一人の生徒に、活躍の場を与えるよう努めている。	○
⑫	生徒一人一人の頑張りを認め、賞賛するよう心掛けている。	○
⑬	それぞれの学年に応じた系統的な進路指導を実践している。	○

5 家庭・地域との連携の強化

	観 点	評 価
⑭	保護者や地域の方が来校したり、相談したりしやすい体制をつくっている。	○
⑮	教育活動に関する情報を、校報・通信・ホームページ等で積極的に家庭・地域に知らせている。	×
⑯	保護者や地域が来校したり、相談したりしやすい体制をつくっている。	○

<アンケート結果の分析>

1 支え合う仲間・集団づくりの推進について

多くの生徒が楽しく学校生活を送れている様子が分かる。③の質問に対して肯定的な意見が低いのが気にはなる。保護者、教職員のアンケートからもほとんどの生徒が安心して学校生活を送れていることが分かる。

しかし、保護者アンケートの①～④の質問に対する肯定的な意見がすべて9割を割っている。学校に登校できにくい生徒が昨年より増加していることにも起因していると考ええる。一人一人の生徒に寄り添いながら、家庭と学校が連携して対応する必要がある。

2 規律ある学校づくりについて

生徒は肯定的がほとんどである。しかしながら、保護者、教職員の結果からは⑥（学校や地域で進んで挨拶）が課題ととれる。保護者の意見の中にも「最近挨拶が低調になっているのでは」という意見がいくつか見られた。

3 分かる楽しい授業の実践について

多くの生徒は授業が分かりやすいと感じている。しかし、学習習慣については否定的な生徒の割合が増えている。保護者、教職員からも生徒の学習習慣については課題である。⑧（分かる授業）の質問に対する肯定的な意見が、生徒は肯定的な意見であるが、昨年に比べ保護者、教職員ともに若干減少している。

4 生徒一人一人の良さの伸長について

⑬が課題である。例年と同じように今回もすべての項目の中で一番肯定的な生徒が少ない。

5 家庭・地域との連携の強化について

少しずつ行事等が行えるようになったものの、保護者の⑯（行事への参加）に対して否定的な意見が若干多い。コロナ禍で中止となっていた行事の必要性を今一度検討する必要を感じる。今年度に入り、HPの更新や各種頼りの発行が昨年に比べ少なくなっており、保護者、教職員ともに⑮の質問に対し否定的な意見が増加している。

<後期に向けて>

1 支え合う仲間・集団づくりの推進について

学校行事や学年での活動などを通して、よりよい集団づくりへつなげたい。2年生については、12月に行われる生徒会役員改選を一つの機会と捉え、主体的に活動できる生徒の育成につなげたい。

学校に登校できにくい生徒に対しては、学級担任が窓口となり、学年部・養護教諭・加配教員（不登校対策等）等が協力しながら対応したい。また、教育支援室をはじめ、関係諸機関との連携も継続して行いたい。

2 規律ある学校づくりについて

学校での挨拶については教職員から進んで挨拶を行い、挨拶の大切さを生徒に伝えとともに、生徒会などでも考える機会を持たせたい。

また、保護者への啓発を行ったり、月1回行っているブロックあいさつ運動の充実を図ったりして、家庭・地域と連携して挨拶の大切さを生徒に伝えていきたい。

3 分かる楽しい授業の実践について

授業については、授業改善に努め、分かる授業に心掛けている教員の姿勢を生徒も感じ取っているようであるので、今後も継続していきたい。タブレットの効果的な活用方法を課題に上げている教職員がいるので、よりよい活用方法について研修を重ねたい。学習習慣を身に付けさせるため、個に応じた言葉掛けを行いたい。

4 生徒一人一人の良さの伸長

進路指導の充実が課題である。個人懇談や教育相談等で生徒個々の進路について、保護者と一緒に生徒の進路について考えていきたい。また、今年度も市全体の取組として、合同会社説明会や大学生との語り場等を計画しているので、自分の進路について考える機会をつくっていく。

5 家庭・地域との連携の強化

新型コロナウイルスの影響を受け、中止となっていた様々な行事への保護者の参加を呼び掛けていきたい。教職員の課題として、学校HPの更新や各種通信の充実が上がっているので各家庭へ生徒の様子を発信していきたい。